

Ⅱ アンケート分析

A 「一般回答分」について

1 総括（全体）分析

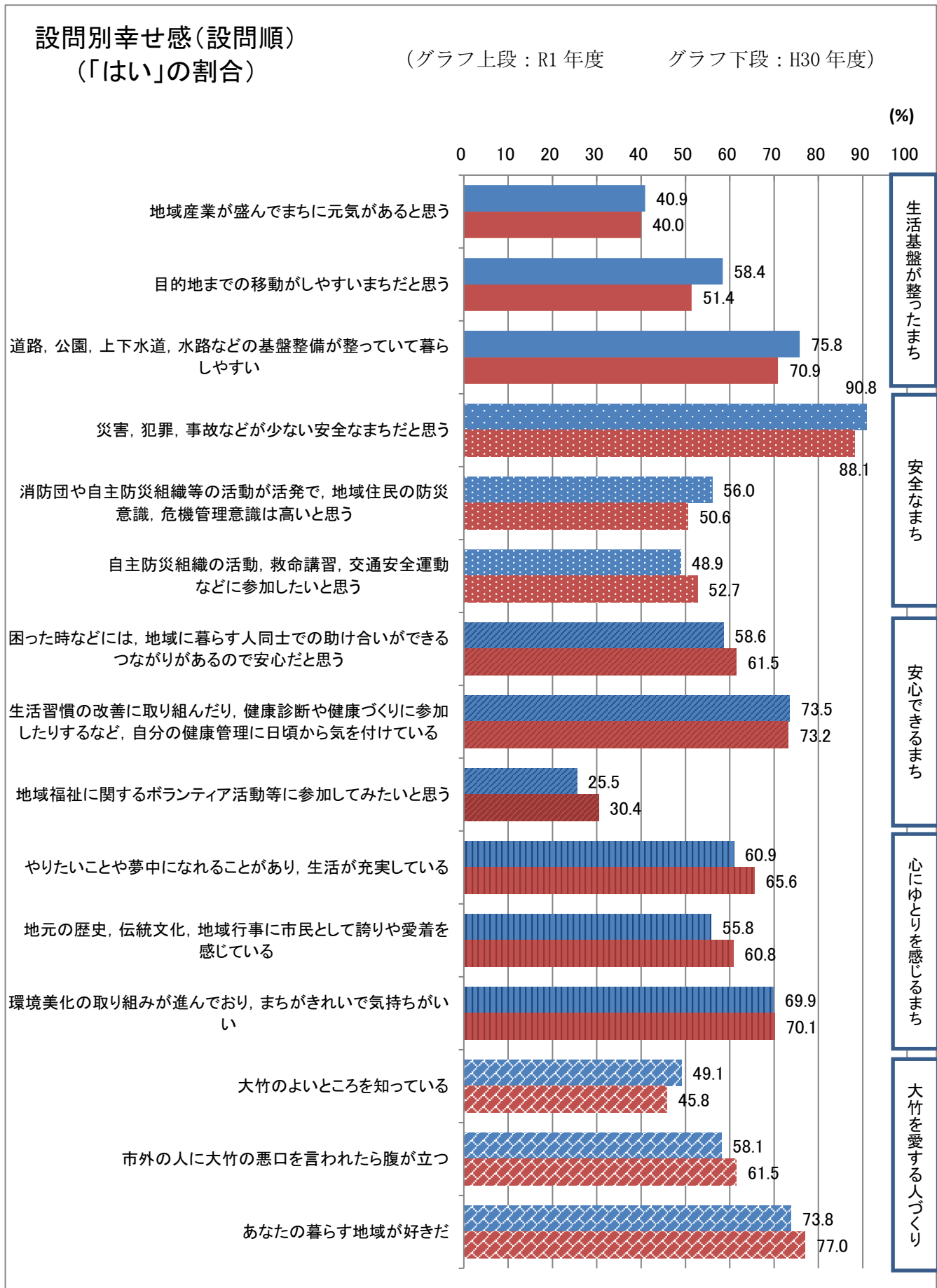
単純集計結果（問・項目・設問別幸せ感）

問番号 と項目	設問	R1						H30			全項目 での 「はい」 の順位 変動		
		回答数(人)			設問の 「はい」		項目の 「はい」		設問の 「はい」	項目の 「はい」			
		はい	いいえ	無回答	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	割合 (%)		順位	
問1	生活基 盤が整 ったま ち	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	159	219	10	40.9	14	58.4	4	40.0	54.1	5	↗
		目的地までの移動がしやすいまちだと思う	227	159	3	58.4	8			51.4			
		道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	295	89	5	75.8	2			70.9			
	安全な まち	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	353	34	2	90.8	1	65.2	1	88.1	63.8	2	↗
		消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	218	162	9	56.0	10			50.6			
		自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	189	189	11	48.9	13			52.7			
	安心 できる まち	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	228	148	13	58.6	7	52.5	5	61.5	55.0	4	↘
		生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	286	95	8	73.5	4			73.2			
		地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	99	271	19	25.5	15			30.4			
	心にゆ とりを 感じる まち	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	237	139	13	60.9	6	62.2	2	65.6	65.5	1	↘
		地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	217	160	12	55.8	11			60.8			
		環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	272	105	12	69.9	5			70.1			
	大竹を 愛する 人づく り	大竹のよいところを知っている	191	164	33	49.1	12	60.3	3	45.8	61.4	3	→
		市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	226	150	13	58.1	9			61.5			
		あなたの暮らす地域が好きだ	287	81	21	73.8	3			77.0			
問1全体		3,484	2,169	182	59.7%			60.0%					
問2	市民 自治	あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	194	163	32	49.9	45.1		56.7	48.6			
		自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	157	187	46	40.4			40.5				

前年度との比較表（設問別幸せ感）①

問・項目	設問	R1		H30		前年度からの動き			
		「はい」の割合(%)	左の順位	「はい」の割合(%)	左の順位	「はい」の割合(%)	順位		
問1	生活基盤が整ったまち	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	40.9	14	40.0	14	0.9	↗	→
		目的地までの移動がしやすいまちだと思う	58.4	8	51.4	11	7.0	↗	↗
		道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	75.8	2	70.9	4	4.9	↗	↗
	安全なまち	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	90.8	1	88.1	1	2.7	↗	→
		消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	56.0	10	50.6	12	5.4	↗	↗
		自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	48.9	13	52.7	10	△3.8	↘	↘
	安心できるまち	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	58.6	7	61.5	7	△2.9	↘	→
		生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	73.5	4	73.2	3	0.3	↗	↘
		地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	25.5	15	30.4	15	△4.9	↘	→
	心にゆとりを感じるまち	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	60.9	6	65.6	6	△4.7	↘	→
		地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	55.8	11	60.8	9	△5.0	↘	↘
		環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	69.9	5	70.1	5	△0.2	↘	→
	大竹を愛する人づくり	大竹のよいところを知っている	49.1	12	45.8	13	3.3	↗	↗
		市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	58.1	9	61.5	7	△3.4	↘	↘
		あなたの暮らす地域が好きだ	73.8	3	77.0	2	△3.2	↘	↘
問2 市民自治	あなたの暮らす地域のことに普段から興味もっている	49.9	/	56.7	/	△6.8	↘	/	
	自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	40.4	/	40.5	/	△0.1	↘	/	

前年度との比較表（設問別幸せ感）②



- 問1の各設問において、「はい」と答えた人の割合を算出し、その値が高いほど、市民の幸せ感も高いと判断します。
- 問2（市民自治）については、「はい」と答えた人の割合が高いほど、「まちづくりを自分自身の問題として捉え、行政と一緒に考え行動する」わがまちプランに定める市民自治の理念が広まっていると判断します。

アンケートは、この割合を用いて、市民が普段の生活で感じている幸せ、あるいは心配な部分について分析を行います。毎年度異なる人にご協力をいただいておりますので、経年比較は傾向としてとらえることになります。

(1)「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について

問1設問全体で、「はい」と答えた人の割合は、59.7%となっています。

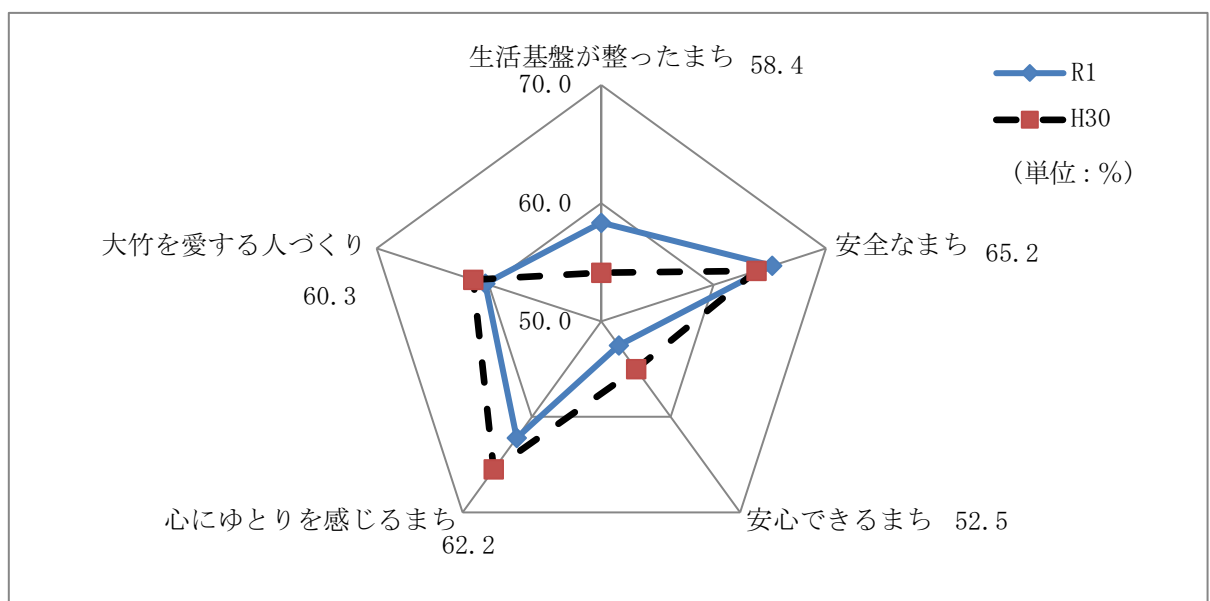
漠然とではありますが、約6割の人が幸せを感じながら日々の生活を送っているようです。前年度とほぼ同じ結果となりました。

①項目別順位

項目比較での幸せ感の順位は、次のとおりです。前年度と比べると3位以外は順位が変動しました。「生活基盤が整ったまち」は全設問でポイントが上がっており、前年度に比べ4.3ポイント増加し、最も大きな伸びとなっています。

全ての項目で前年度との比較は、5.0ポイント以内であり、大きな変動ではないため、全体的に前年と同程度、幸せを感じている人がいるものと思われます。

順位	項目	R1割合（対前年比較）	H30割合（順位）
1	安全なまち	65.2%（↑1.4）	63.8%（2）
2	心にゆとりを感じるまち	62.2%（↓3.3）	65.5%（1）
3	大竹を愛する人づくり	60.3%（↓1.1）	61.4%（3）
4	生活基盤が整ったまち	58.4%（↑4.3）	54.1%（5）
5	安心できるまち	52.5%（↓2.5）	55.0%（4）



②設問別順位

幸せ感の上位3位及び下位3位の設問の状況は、次のとおりです。

9年間の調査で初めて上位3位及び下位3位の設問に変動がありました。

順位 []内は前年度	設 問	割合(%) []内は前年度
1 [1]	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	90.8 [88.1]
2 [4]	道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	75.8 [70.9]
3 [2]	あなたの暮らす地域が好きだ	73.8 [77.0]
・ ・	・ ・	・ ・
13 [10]	自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	48.9 [52.7]
14 [14]	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	40.9 [40.0]
15 [15]	地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	25.5 [30.4]

③特徴

項目「生活基盤が整ったまち」（4位：58.4%）

「地域産業が盛んでまちに元気があると思う」（14位：40.9%）は、前年度と同じ順位ですが、0.9ポイント増加しています。

また、「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」（2位：75.8%）は4.9ポイント増加し、前年度より順位を2つ上げ、幸せ感は増していると考えられます。

項目の幸せ感はず年度より4.3ポイント増加し、1つ順位を上げており、昨年度と比べて幸せを感じる人の割合は増えています。

項目「安全なまち」（1位：65.2%）

「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」（1位：90.8%）は、前年度より2.7ポイント増加し、2位とのポイント差は15.0ポイントと昨年度から広がり、依然として他の設問に比べ幸せ感が高くなっています。

「自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う」（13位：48.9%）の幸せ感はず年度から3.8ポイント減少し、前年度の10位から3つ順位を下げました。

項目の幸せ感はず年度より1.4ポイント増加し、1つ順位を上げており、昨年度と比べて幸せを感じる人の割合は増えています。

項目「安心できるまち」(5位:52.5%)

「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」(7位:58.6%)は、前年度と同順位でしたが、2.9ポイント減少し、6割を切りました。

「生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」(4位:73.5%)は、前年度と比べて順位が1つ下がりましたが、0.3ポイント増加しており、幸せを感じている人の割合は増えています。

「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」(15位:25.5%)は、前年度から4.9ポイント減少し、幸せ感は最も低くなっています。

項目の幸せ感は昨年度より2.5ポイント減少し、1つ順位を下げており、昨年度と比べて幸せを感じる人の割合は減り、幸せ感は最も低い項目となっています。

項目「心にゆとりを感じるまち」(2位:62.2%)

「やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している」(6位:60.9%)と「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」(5位:69.9%)は、前年度と同順位ですが、それぞれ4.7ポイント、0.2ポイント減少しました。

「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」(11位:55.8%)は、前年度の9位から順位を2つ下げました。また、幸せ感は5.0ポイント減少し、全体で一番の下げ幅となっています。

全ての設問で幸せ感は減少しており、項目全体としても一番の下げ幅で3.3ポイント減少しました。

項目「大竹を愛する人づくり」(3位:60.3%)

「大竹のよいところを知っている」(12位:49.1%)は、前年度より3.3ポイント増加し、前年度から順位を1つ上げ、アンケート開始以来の1番高い順位となり、約半数の人が幸せ感を感じています。

「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」(9位:58.1%)は、前年度から3.4ポイント減少し、順位は2つ下がりました。

「あなたの暮らす地域が好きだ」(3位:73.9%)は、前年度から3.1ポイント減少し、順位は1つ下がりました。

前年度と比べて幸せ感が1.1ポイント減少しましたが、項目の順位は3位と変わりはありませんでした。

④特徴（設問と問3の自由記述（P43～55）〔設問に付随した心配に思っていること〕から）

項目「生活基盤が整ったまち」

◆ 設問「地域産業が盛んでまちに元気があると思う」（14位）

15設問中14位で、幸せ感も40.9%と、平均値を約20ポイントも下回っています。駅前や商店街など身近なところを参考に回答された人が多いようで、昔に比べて個人商店が減り近所で買い物をするところが少なくなってきたことなどを心配する意見が多く見られました。また、駅前に商店が少なくなり、まちに活気がなくなってきたという意見もありました。

◆ 設問「目的地までの移動がしやすいまちだと思う」（8位）

前年度より3つ順位を上げ、幸せ感は7.0ポイント増加し、全ての設問の中で一番の増加率となりました。車がなければ、移動手段がないなど車を運転できなくなった時が心配という意見が多く、バスの増便やエリア・ルートの見直しなど、公共交通機関の充実について、様々な意見が出ています。また、渋滞の改善、小方駅の設置などを求める意見も寄せられました。

◆ 設問「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」（2位）

前年度から4.9ポイント増加し、順位は2つ上がり、7割を超える人が暮らしやすさを感じています。一方で用水路や道路、街灯の整備を要望する意見が寄せられました。

項目「安全なまち」

◆ 設問「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」（1位）

前年度と比べて2.7ポイント増加し、90.8%という高い幸せ感で、全ての設問の中で初めて90%を越えました。今年度は平均値を31.1ポイント上回り、2位との差も15.0ポイント開く結果となりました。しかし、近年増加している豪雨等が引き起こす災害への心配、交通事故への不安は少なからずありました。

◆ 設問「消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う」（10位）

前年度と比べて5.4ポイント増加し、順位を2つ上げ、5割を超える人が地域の防災意識、危機管理意識は高いと感じています。

また、不安を感じている人の意見として、災害が少ない「安全なまち」であるが故に、防災意識が低いという声や、消防団や自主防災組織などの活動について、よく分からないという意見がありました。

◆ 設問「自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う」（13位）

前年度と比べて3.8ポイント減少し、順位を3つ下げましたが、約5割の人が自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと考えています。

参加しない理由としては、組織や訓練の内容などが分からないという意見もありました。

項目「安心できるまち」

- ◆ 設問「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」（7位）

前年度より 2.9 ポイント減少しましたが、順位に変動はありませんでした。約 6 割の人が安心だと感じている一方で、高齢化や地域住民のつながりの希薄化により、困った時に相談できる人がいないという意見も多くありました。

- ◆ 設問「生活習慣病の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」（4位）

順位は前年度から 1 つ下がりましたが、0.3 ポイント増加しました。健康については多くの人に関心を持ち、例年高水準を保っています。病院の充実や、働いている世代が参加しやすい健康増進イベントの開催を希望する声もありました。

- ◆ 設問「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」（15位）

前年度より 4.9 ポイント減少し、調査開始から最下位が続いています。ボランティアの内容や参加方法などが分からないなどの意見が寄せられていました。

項目「心にゆとりを感じるまち」

- ◆ 設問「やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している」（6位）

前年度と同順位ですが、幸せ感は 4.7 ポイント減少しています。やりたいことや夢中になれることがないという意見も寄せられていました。

- ◆ 設問「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」（11位）

前年度から 5.0 ポイントを下げっており、一番の下げ幅となっています。伝統文化や地域行事の担い手の減少を心配する声が見られます。また、昔に比べて大竹を知る機会が減っているという意見も寄せられています。

- ◆ 設問「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」（5位）

前年度から 0.2 ポイント減少しましたが、約 7 割の人が「きれいなまち」に関して気持ちがいいと感じています。日頃から周辺のごみを拾っているなど清掃活動を行っている人が多くおり、たばこのポイ捨てなどのマナーの悪さや空き地の雑草などの処分に関する意見が多く出ています。また、工場などののにおいに関する意見が寄せられています。

項目「大竹を愛する人づくり」

◆ 設問「大竹のよいところを知っている」(12位)

前年度から3.3ポイント増加し、順位が一つ上がり、12位となりました。伝統文化が継承されていることや大きな災害が発生していないことなどが自分の暮らす地域の良いところとして挙がっています。

◆ 設問「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」(9位)

この設問と次の設問は、ストレートに感覚を尋ねています。前年度から3.4ポイント減少しましたが、約6割の人がそう思うと回答しており、大竹市に対する愛着が感じられます。

◆ 設問「あなたの暮らす地域が好きだ」(3位)

前年度から3.2ポイント減少し、順位は1つ下がりました。7割を超える人が好きだと回答している一方で、好きになれないところについても、たくさんの意見をいただいています。

(2) 市民自治(問2)について

わがまちプランに定める市民自治の理念は、半数程度の人に受け入れられているようで、「はい」と答えた人の割合は、前年度と同様の水準を維持しています。

「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」(49.9%)は、前年度より6.8ポイント減少し、「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」(40.4%)は、前年度より0.1ポイント減少しています。

自由記述から、地域のためにやってみたいこととして、地域の伝統文化の継承、ごみ拾いなどの地域の清掃、子どもの登下校の見守りなど具体的なことから、ボランティアなど困っていることや自分にできることがあれば協力したいという意見がありました。また、実際に行っていることとしては、自治会活動や清掃活動などが挙げられています。

一方、やってみたいと思ってもできない理由として、仕事や育児・家族の介護などや、自身・家族の健康に関する問題などが多く見られました。

2 属性別分析

(1) 性別

①問1について

項目	設問	男性				女性			
		設問の「はい」		項目の「はい」		設問の「はい」		項目の「はい」	
		割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位
生活基盤が整ったまち	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	40.1	14			42.2	14		
	目的地までの移動がしやすいまちだと思う	61.5	8	61.2	4	55.8	9	56.1	4
	道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	81.9	2			70.4	4		
安全なまち	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	91.2	1			90.3	1		
	消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	56.6	11	65.8	2	55.8	9	64.9	1
	自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	49.5	13			48.5	12		
安心できるまち	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	58.2	10			59.2	6		
	生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	75.3	4	53.7	5	71.8	2	51.6	5
	地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	27.5	15			23.8	15		
心にゆとりを感じるまち	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	65.9	6			56.8	8		
	地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	62.1	7	67.8	1	50.5	11	57.4	3
	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	75.3	4			65.0	5		
大竹を愛する	大竹のよいところを知っている	52.2	12			46.6	13		
	市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	59.3	9	62.8	3	57.3	7	58.3	2
	あなたの暮らす地域が好きだ	76.9	3			70.9	3		
問1全体		62.2				57.7			

ア 全体的な傾向

問1全体での幸せを感じている割合は、「男性」62.2%、「女性」57.7%と「男性」が「女性」よりも高くなっています。

イ 項目・設問にみられる顕著な傾向・特徴

項目による幸せ感の幅は、「男性」の14.1ポイント(67.8%－53.7%)、「女性」は13.3ポイント(64.9%－51.6%)となっており、10ポイント以上の差があるため、男女ともに幸せの感じ方がはっきりしているということが見て取れます。男女間で大きく幸せ感に差がついた項目は「心にゆとりを感じるまち」で、項目内全ての設問で「男性」の方が「女性」よりも高くなっています。特に設問「地域の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」は11.6ポイントの開きがあり、性別によって幸せの感じ方の違いがはっきり出ています。

項目「安全なまち」の設問「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」は、男女ともに1位となっており、ポイントが非常に高く、9割を超える人が「安全なまち」と感じています。

また、項目「安心できるまち」の設問「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」は、男女とも最下位で、1つ上の順位と10ポイント以上の差が出ています。

今回の調査では、多くの項目で「男性」の方が、「女性」よりも高くなっており、「地域産業が盛んでまちに元気があると思う」と「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」のみ「女性」の方が幸せを感じている割合が高くなっています。これらの項目については、買い物や近所づきあいなどにより、幸せ感が高くなっている可能性があります。

②問2について

問2の設問では、前年度と逆の結果になり、いずれも「男性」の方が「女性」より高くなっています。設問「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」は男女ともに、前年度からポイントが減少しており、特に「女性」は11.5ポイントが減少しています。設問「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」は、「女性」が4割以下となり、「男性」と3.5ポイントの差が生じています。

設問	男性 (%)	女性 (%)
あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	52.2 (53.8)	48.1 (59.6)
自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	42.3 (36.8)	38.8 (43.8)

※()内は前年度

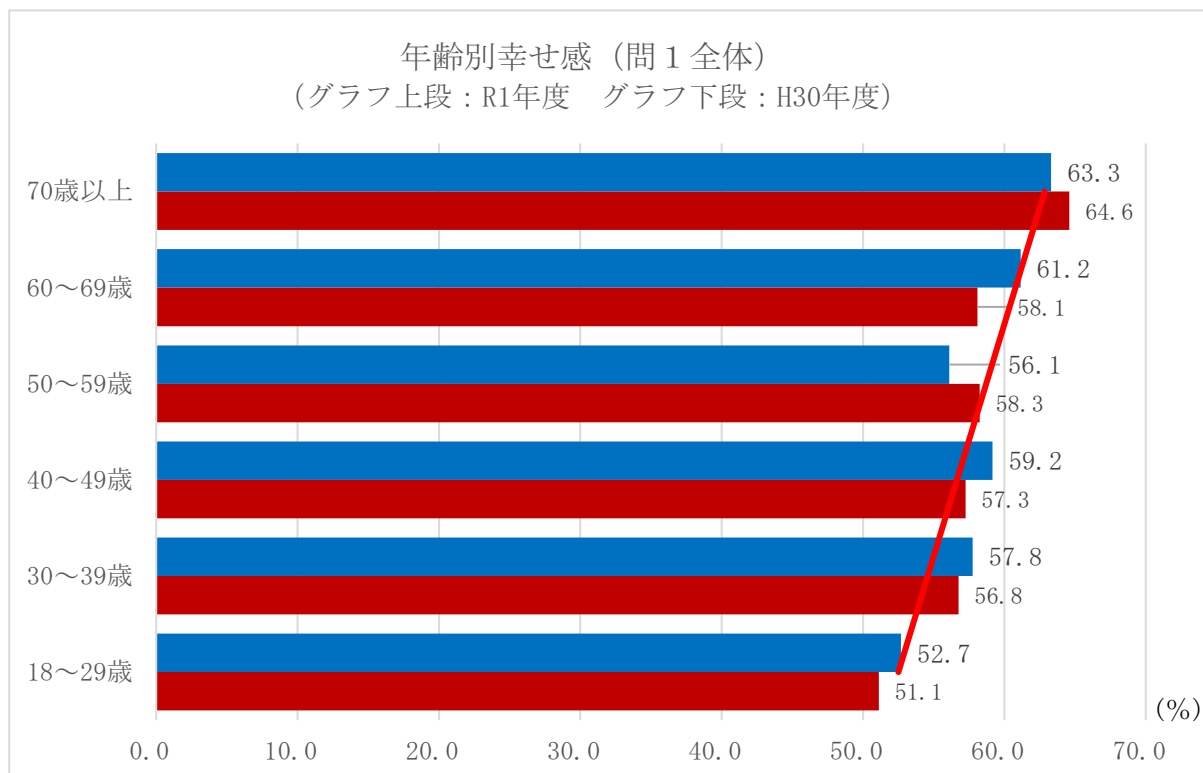
(2) 年齢

①問1について

ア 全体的な傾向

どの年齢層においても半数以上の方が幸せを感じています。

「18～29歳」の年齢層の幸せ感が52.7%で最も低く、年齢が上がるにつれて幸せ感が増加する傾向にあります。



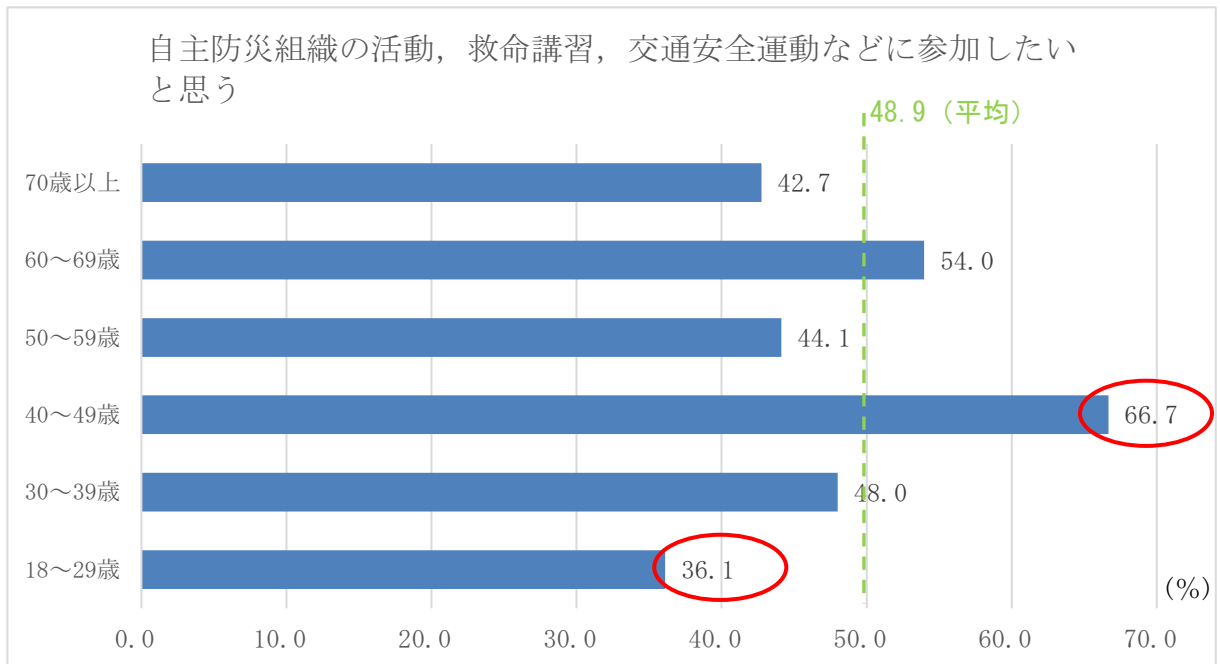
イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

全項目において、「70歳以上」の幸せ感は上位となっています。反対に「18～29歳」は、4つの項目で最下位となっています。また、「40～49歳」は、「安全なまち」の幸せ感が高く、67.4%となっていますが、「安心できるまち」の幸せ感は低く、45.4%となり、項目ごとの幸せ感で大きな差が出ていました。

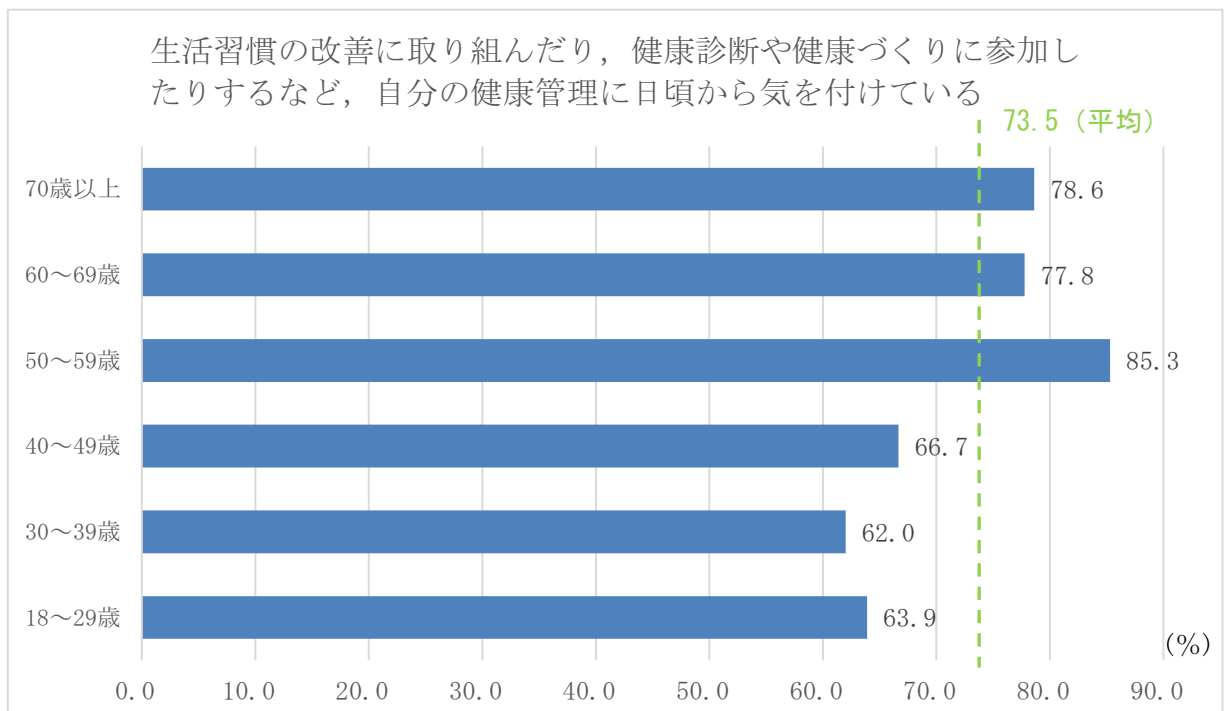
単位：%（順位）

年齢	生活基盤が整ったまち	安全なまち	安心できるまち	心にゆとりを感じるまち	大竹を愛する人づくり
70歳以上	61.1 (1)	67.4 (2)	57.5 (2)	68.4 (1)	62.1 (2)
60～69歳	57.7 (4)	70.4 (1)	54.5 (3)	65.1 (2)	58.3 (4)
50～59歳	52.9 (6)	58.8 (5)	59.0 (1)	54.9 (5)	54.9 (5)
40～49歳	59.3 (2)	67.4 (2)	45.4 (5)	57.4 (4)	66.7 (1)
30～39歳	55.3 (5)	62.0 (4)	49.3 (4)	62.0 (3)	60.1 (3)
18～29歳	59.3 (2)	58.3 (6)	45.4 (5)	52.3 (6)	48.1 (6)

年齢層別で最も幸せ感に差が出た設問は、「自主防災組織の活動，救命講習，交通安全運動などに参加したいと思う」です。この設問は、「40～49歳」の66.7%に対し、「18～29歳」の年齢層では36.1%と、約2倍の差が生じています。

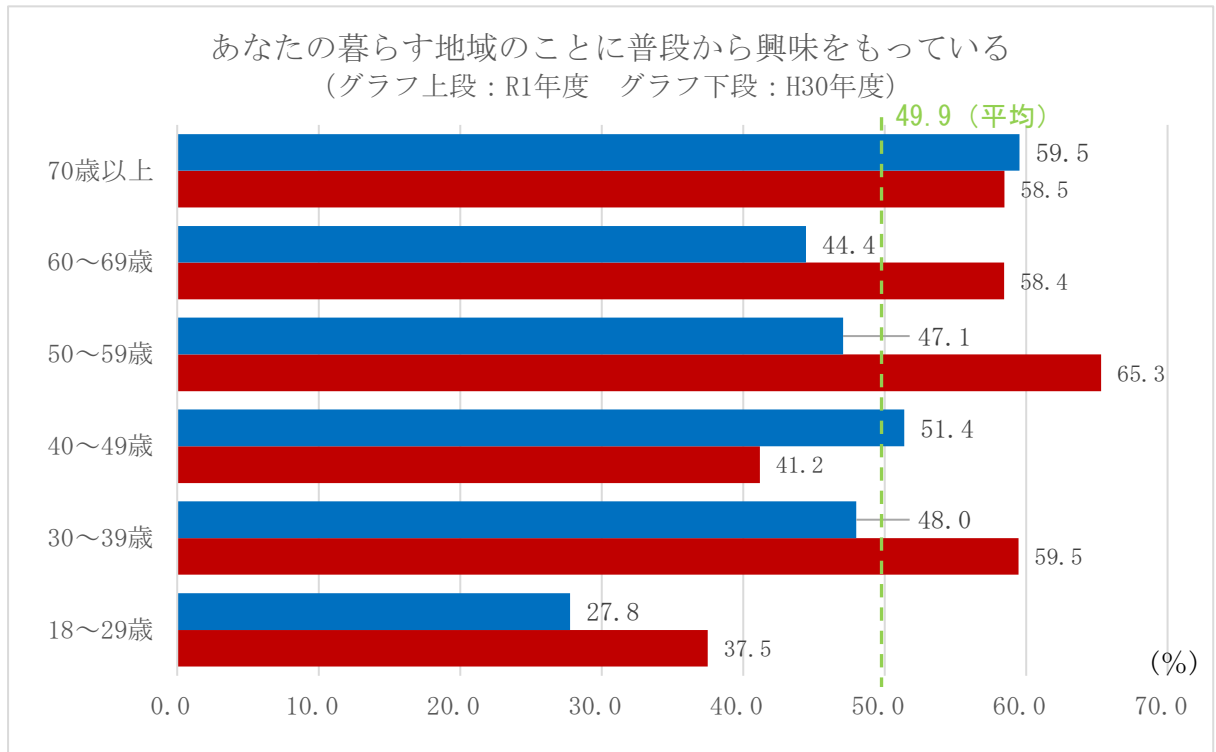


設問「生活習慣の改善に取り組んだり，健康診断や健康づくりに参加したりするなど，自分の健康管理に日頃から気を付けている」では，50歳以上から幸せ感が高くなる傾向となっています。平均値73.5%を超えているのは「50～59歳」，「60～69歳」，「70歳以上」，超えていないのは「20～29歳」，「30～39歳」，「40～49歳」と50歳を境に幸せ感に大きな差が生じています。また，「50～59歳」の85.3%に対し，「30～39歳」は62.0%と23.3ポイントの差が生じています。

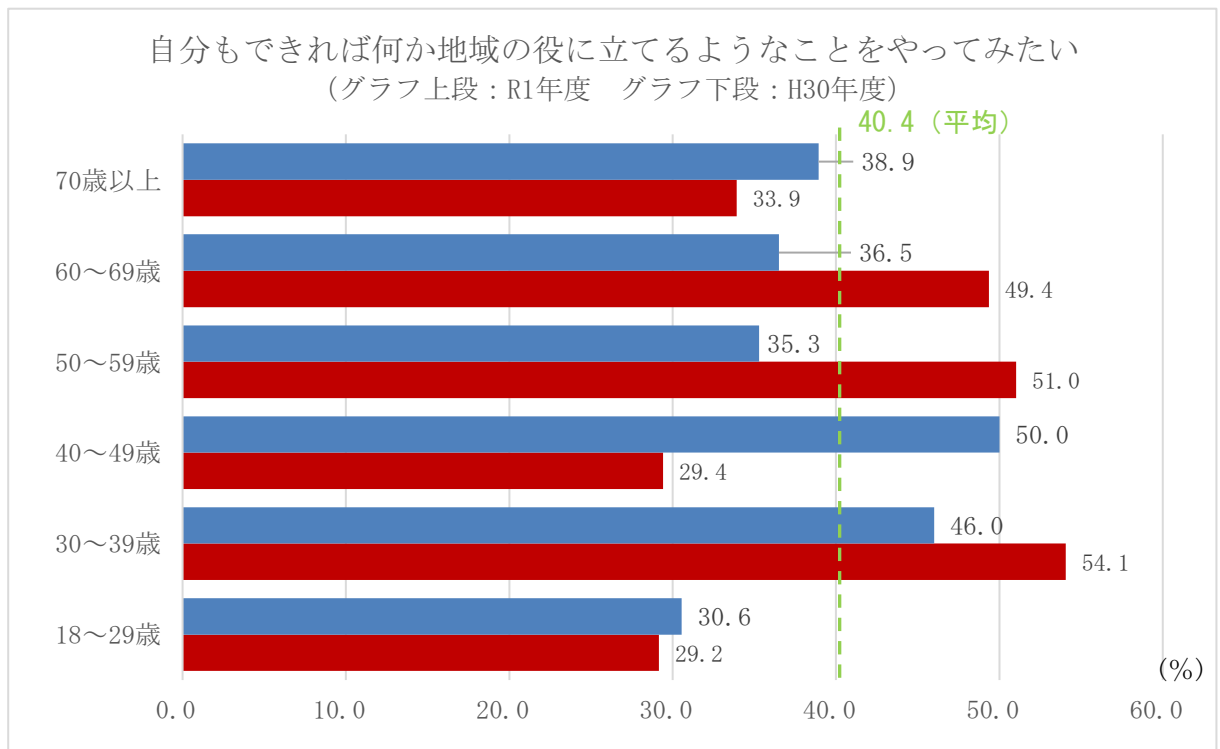


②問2について

設問「あなたの暮らす地域のことについて普段から興味をもっている」では、「18～29歳」が他の年齢層より低く、3割に満たない状況です。一方で、「40～49歳」は、前年度より10.2ポイント増加して5割を超え、全年齢層で一番の伸びを見せ、2位となっています。

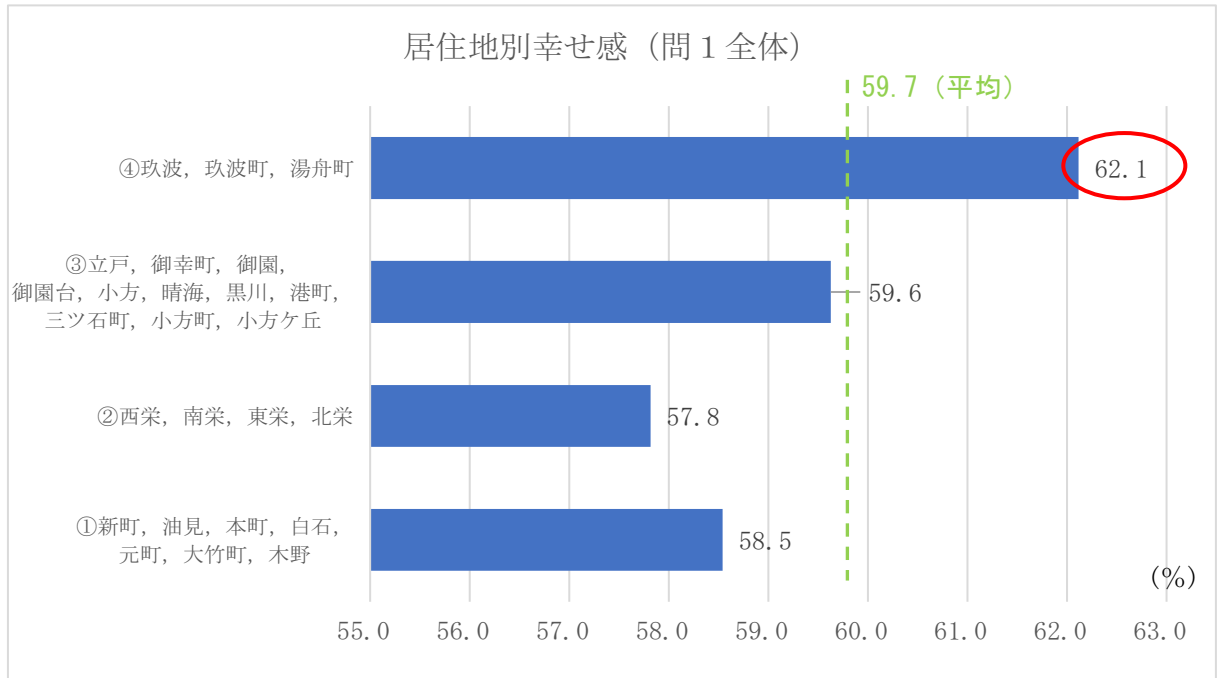


設問「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」では、「60～69歳」と「50～59歳」は、前年度より10ポイント以上も減少し、4割を切りました。一方、「40～49歳」は、ポイントが大きく増え、5割となりました。

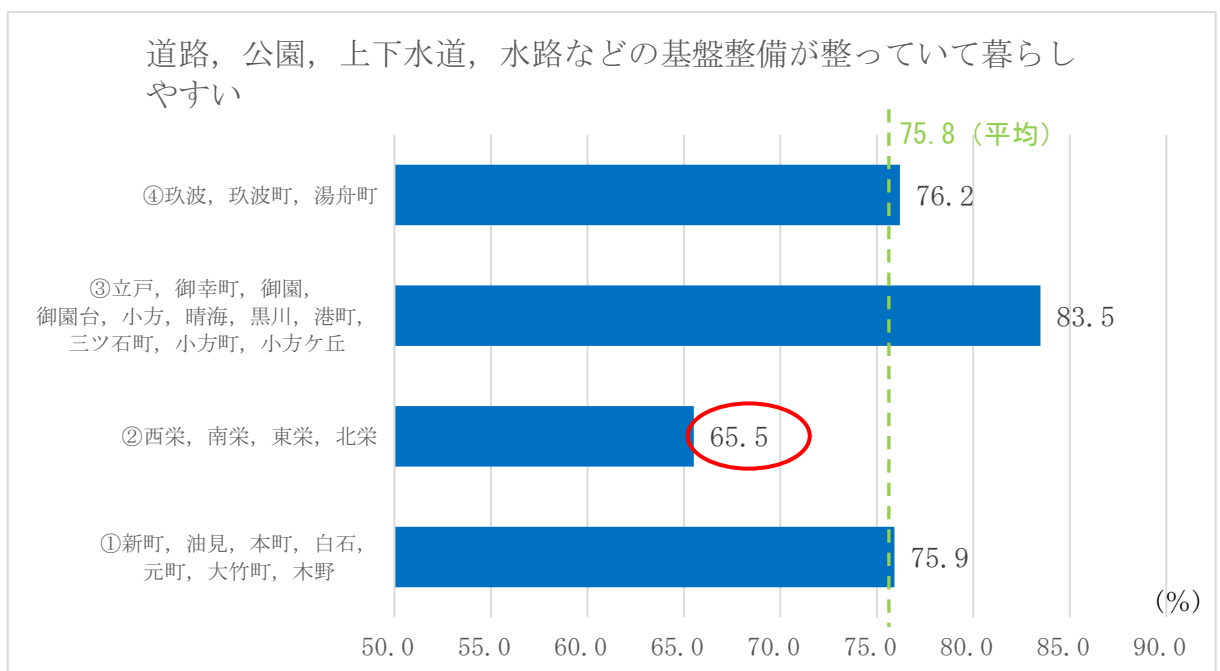


(3) 住所

回答数に大きな差があるため、問1，問2いずれも住所の違いによる特徴を分析できません。回答数50以上の4つの地域（「①新町，油見，本町，白石，元町，大竹町，木野」・「②西栄，南栄，東栄，北栄」・「③立戸，御幸町，御園，御園台，小方，晴海，黒川，港町，三ツ石町，小方町，小方ヶ丘」・「④玖波，玖波町，湯舟町」）で比較してみると，問1全体の幸せ感はいずれも60%前後となっていますが，「④」の地域が他の地域に比べやや高くなっています。



設問「道路，公園，上下水道，水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」では，「②」の地域は7割を下回り，幸せ感の平均値75.8ポイントを4つの地域の中で唯一下回り，「③」の地域と18.0ポイントの差があります。

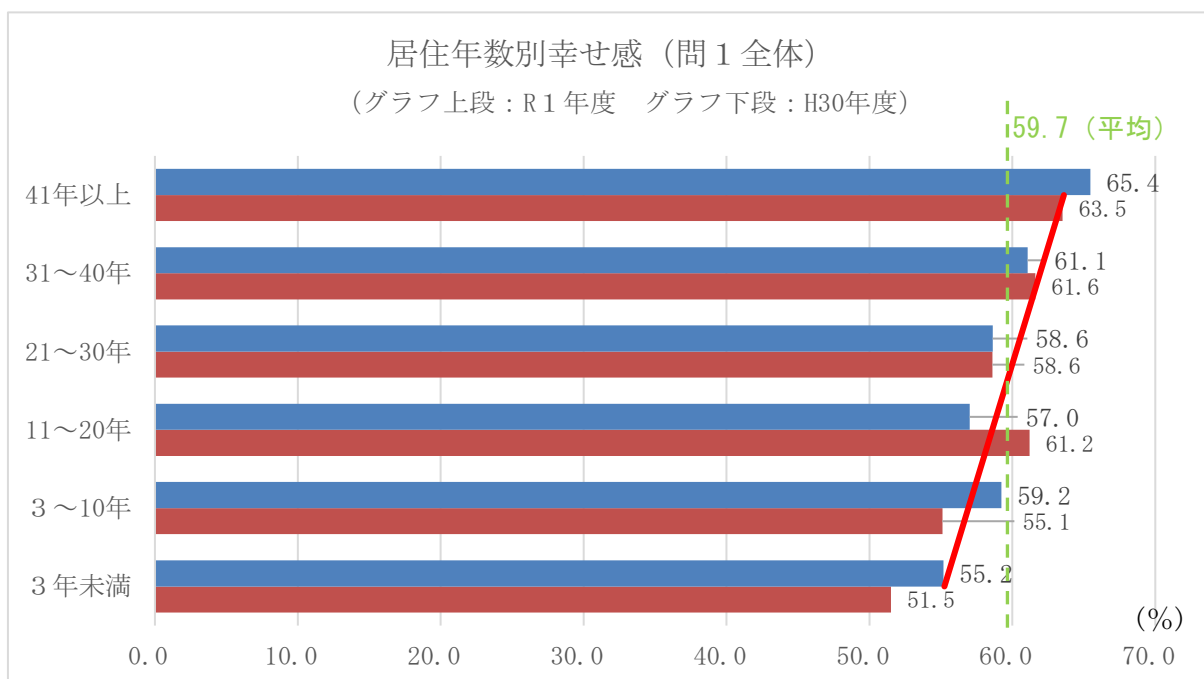


(4) 居住年数

①問1について

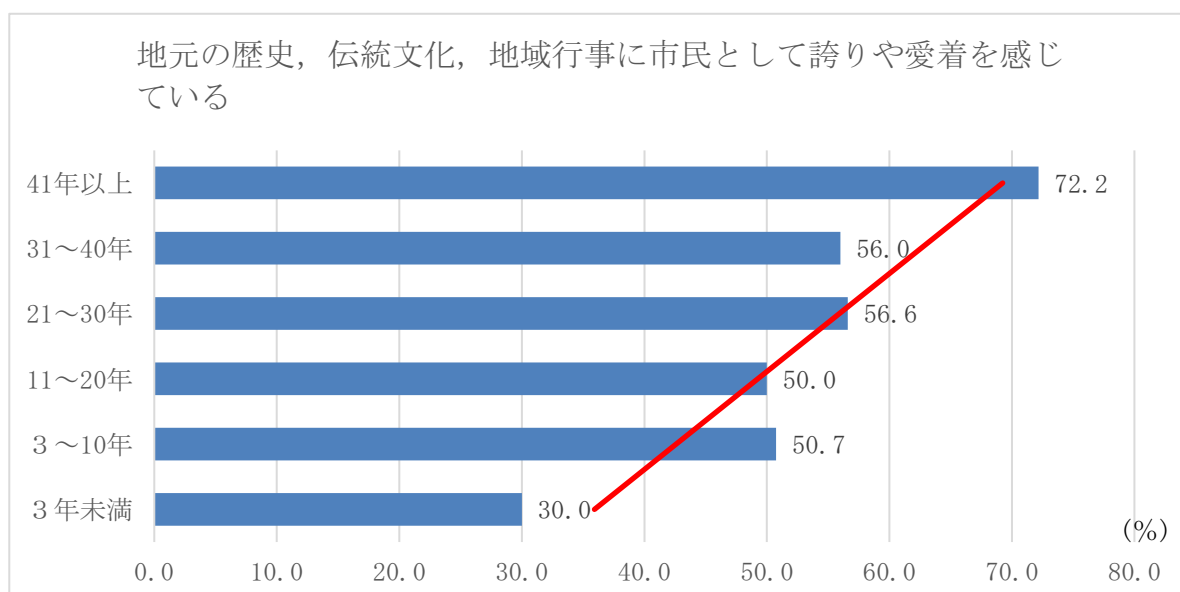
ア 全体的な傾向

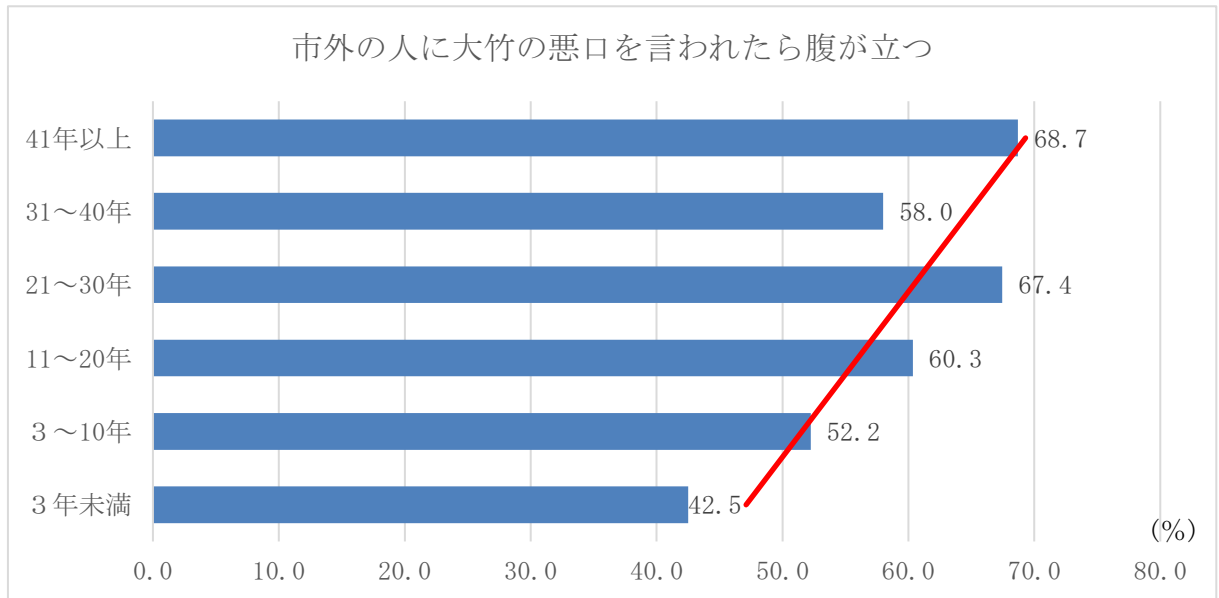
前年度と比較して居住年数が「11～20年」、「31～40年」の層で幸せ感が減少していますが、それ以外の層ではポイントが上がっています。ばらつきがあるものの、居住年数が長くなるにつれて、幸せ感が高くなる傾向にあります。



イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

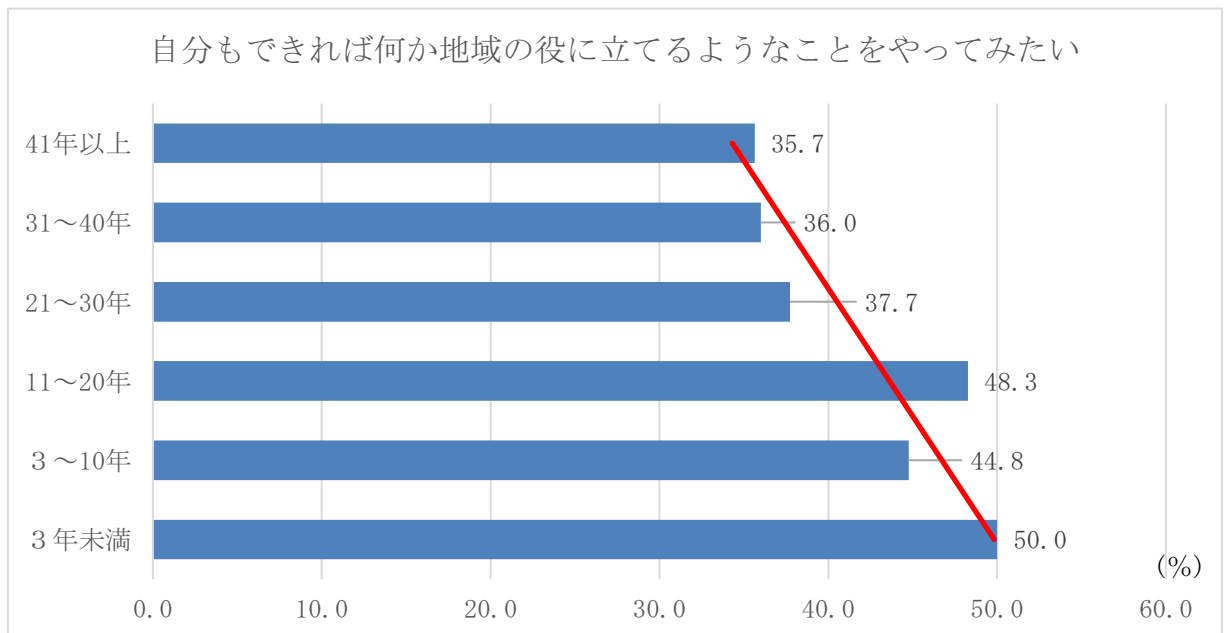
設問「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」は、居住年数が増えていくにつれて、「はい」と回答している人が多くなる傾向が見られます。また、設問「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」も同様の傾向となっており、これらの設問から居住年数が増えるにつれて、大竹により愛着を感じているものと伺えます。





②問2について

設問「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」は、問1の傾向とは逆となり、居住年数が短い方ほど「はい」と回答をしている人が増えています。



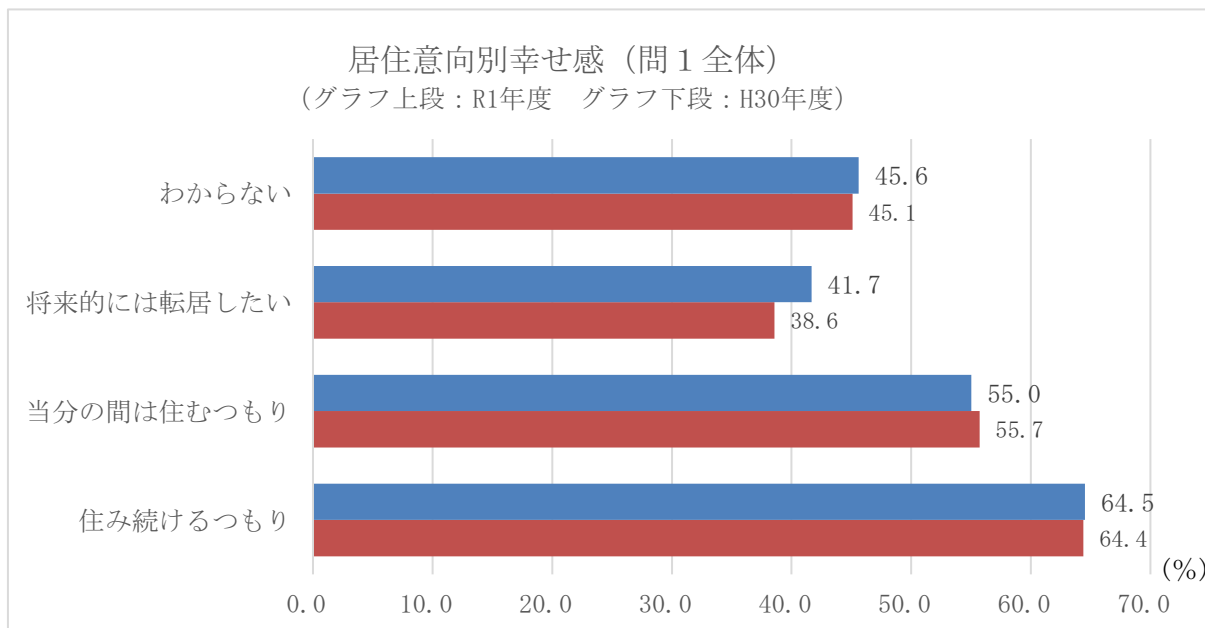
(5) 今後の居留意向

選択肢のうち、「近いうちに転居するつもり」と回答した人は、7人と人数が少なく、傾向として判断できないため掲載していません。

①問1について

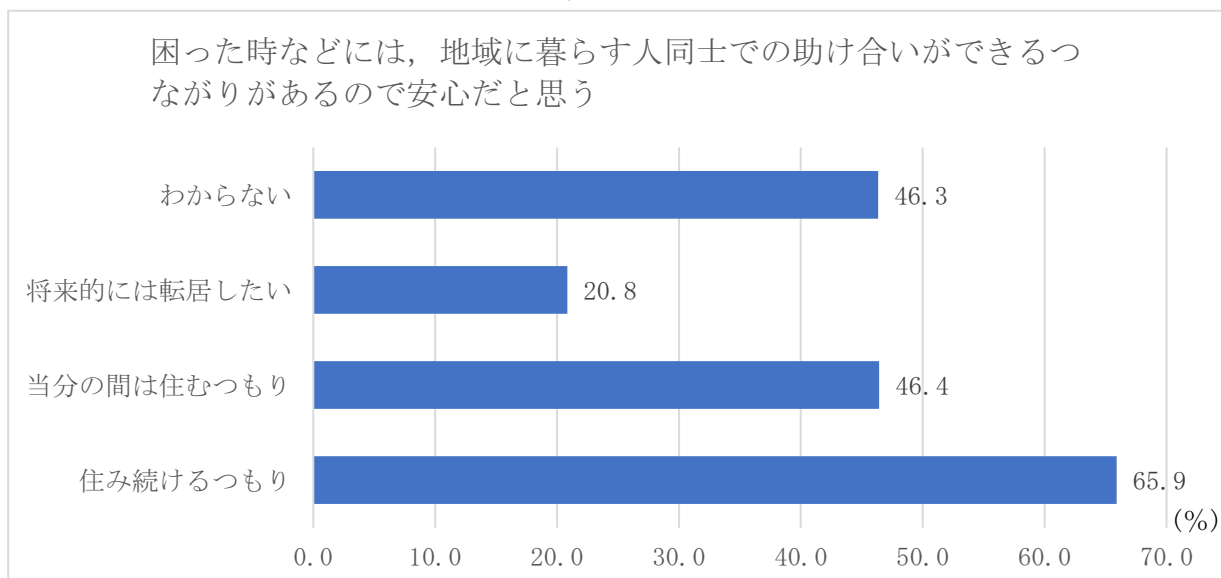
ア 全体的な傾向

「わからない」を除くと、昨年度と同様「将来的には転居したい」<「当分の間は住むつもり」<「住み続けるつもり」の順で幸せ感が高くなっており、長く住み続ける意向を持つ人ほど、幸せを感じているようです。また、「わからない」の人も、半数近くが幸せを感じています。

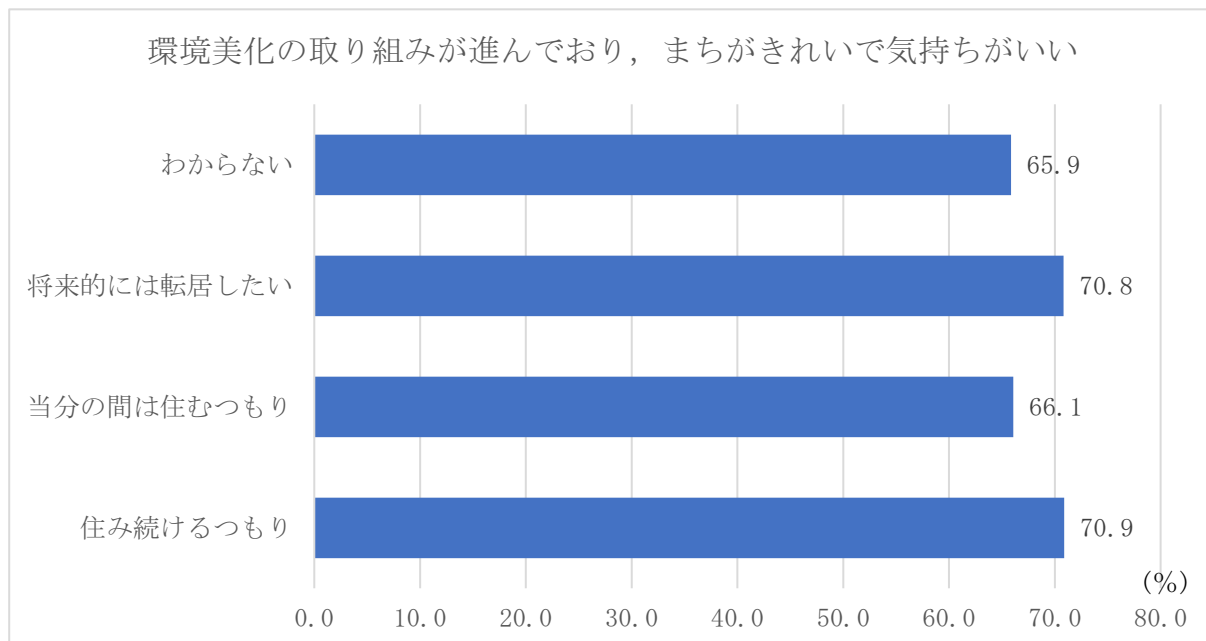


イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

多くの項目において全体的な傾向と類似しています。特に設問「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」では、「住み続けるつもり」の人の幸せ感は「将来的には転居したい」と考えている人より約45ポイント高くなっています。長く住む意思がある人は、地域でのつながりをつくる傾向にあります。

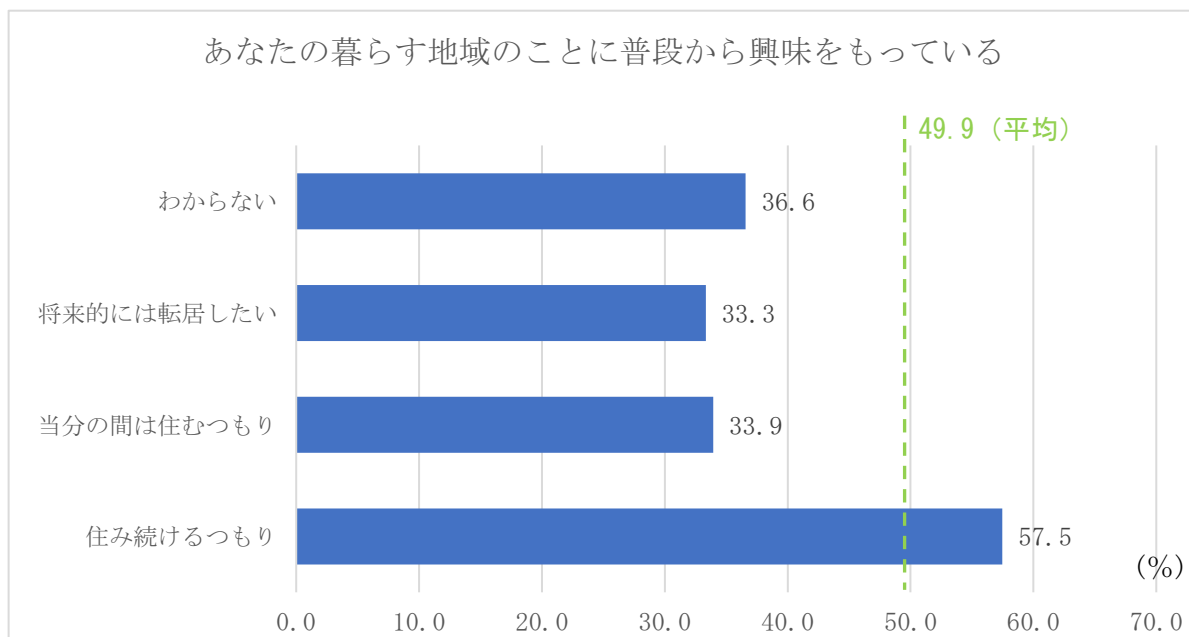


「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」は、7割近くの人が「はい」と回答しており、「将来的には転居したい」と考えている人も、7割以上の人が「きれいなまち」だと思っていることがわかります。



②問2について

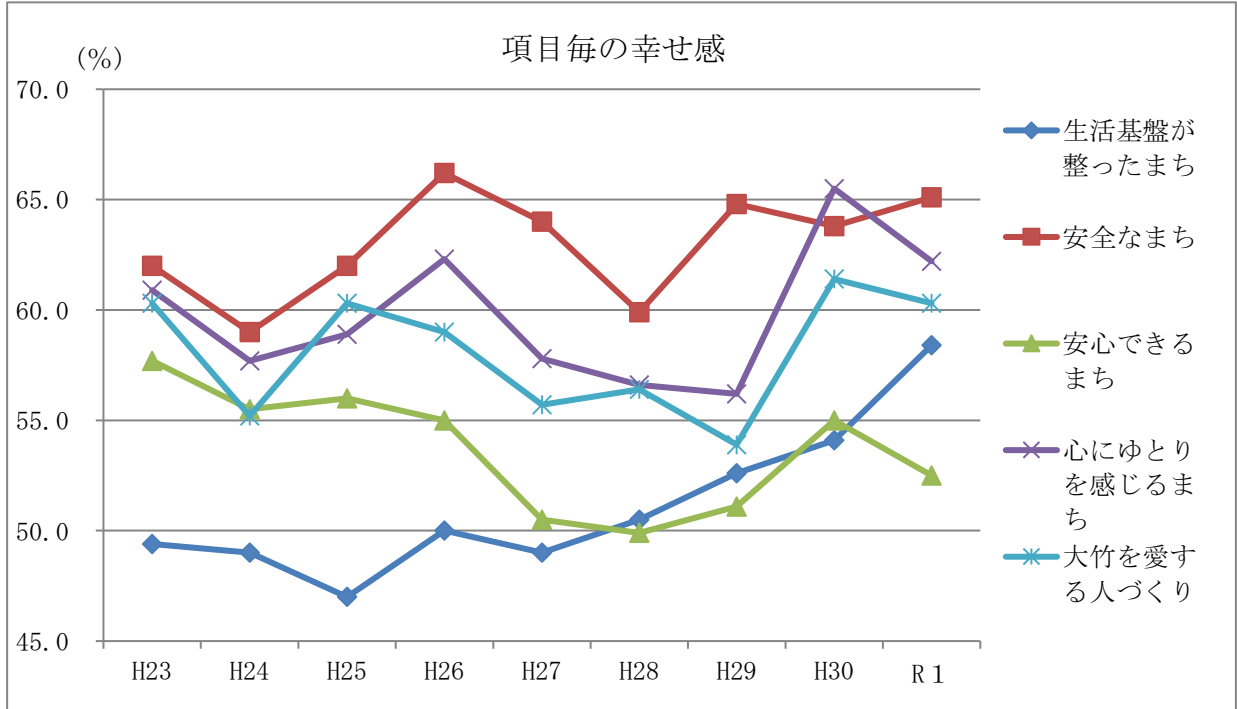
「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」の割合は、全体的な傾向と同様に今後も住み続ける意向が強いほど高くなっています。特に「住み続けるつもり」と回答した人が他よりも突出した数値となっており、地域に対する関心が高いことを表しています。



3 「わがまちプラン」中の数値の動き（過去9年間）（H23-R1）

（1）項目毎の推移

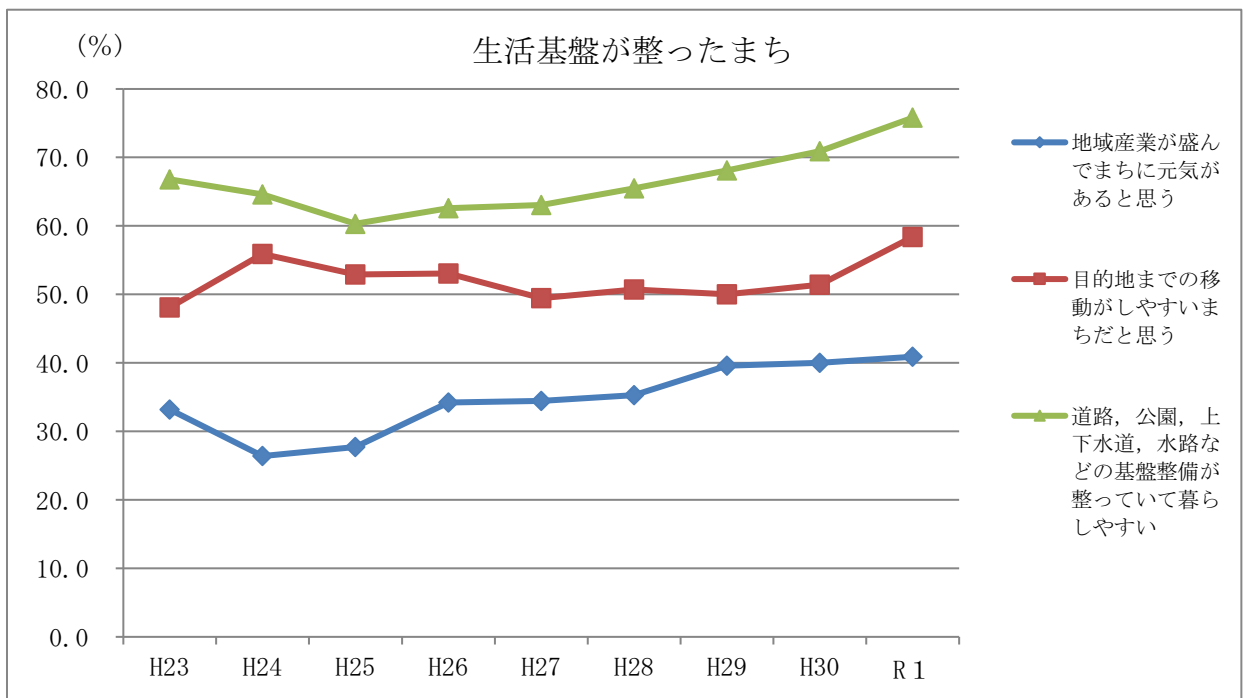
「生活基盤が整ったまち」は、増加傾向となっています。他の項目については、年度により数値が変動していますが、H28に減少傾向が近年は増加傾向に変わっています。



（2）設問毎の推移

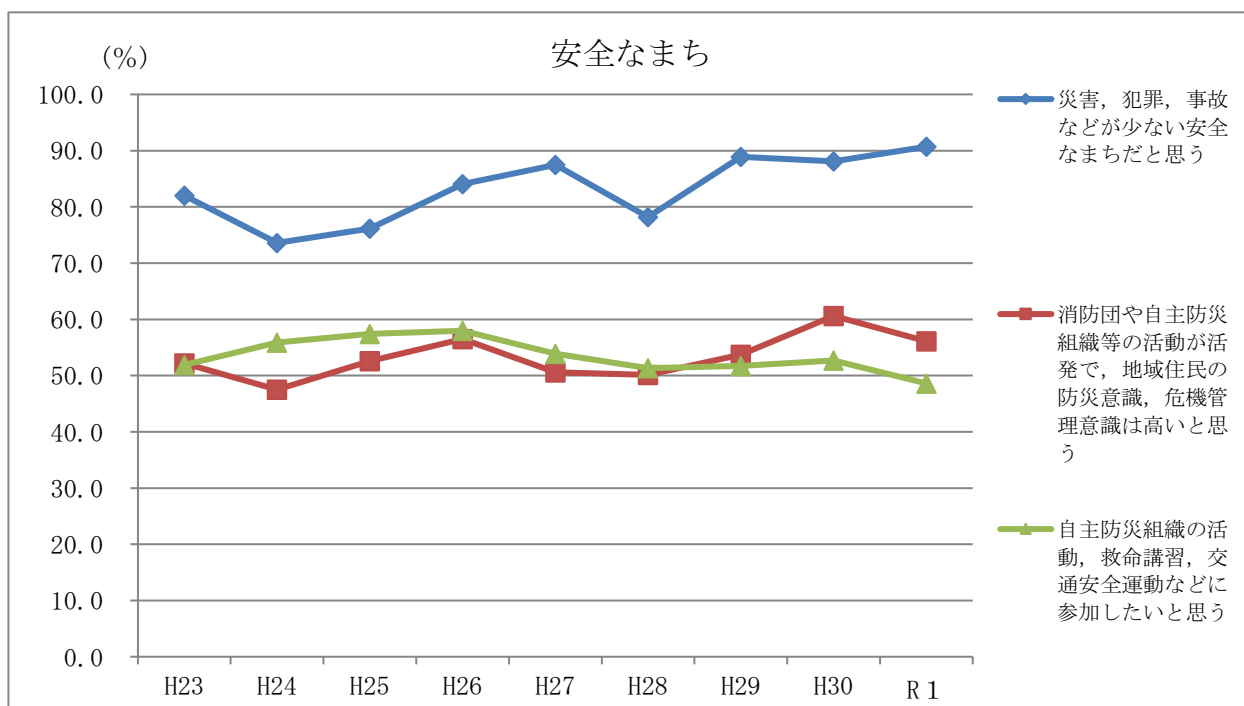
①生活基盤が整ったまち

「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」は常に上位にあります。H25年からは幸せ感が毎年上がっています。



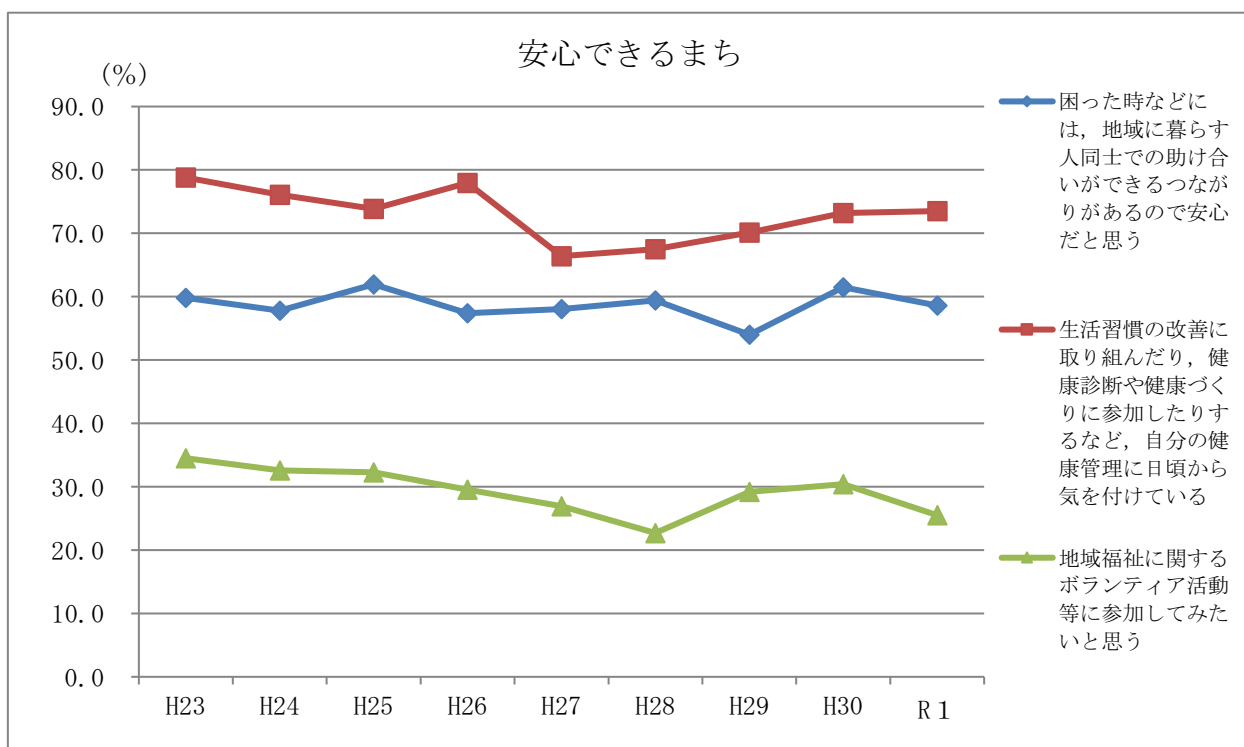
②安全なまち

「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」は、その年に起きた事故や事件に左右されることもありますが、安定して高位をキープしています。



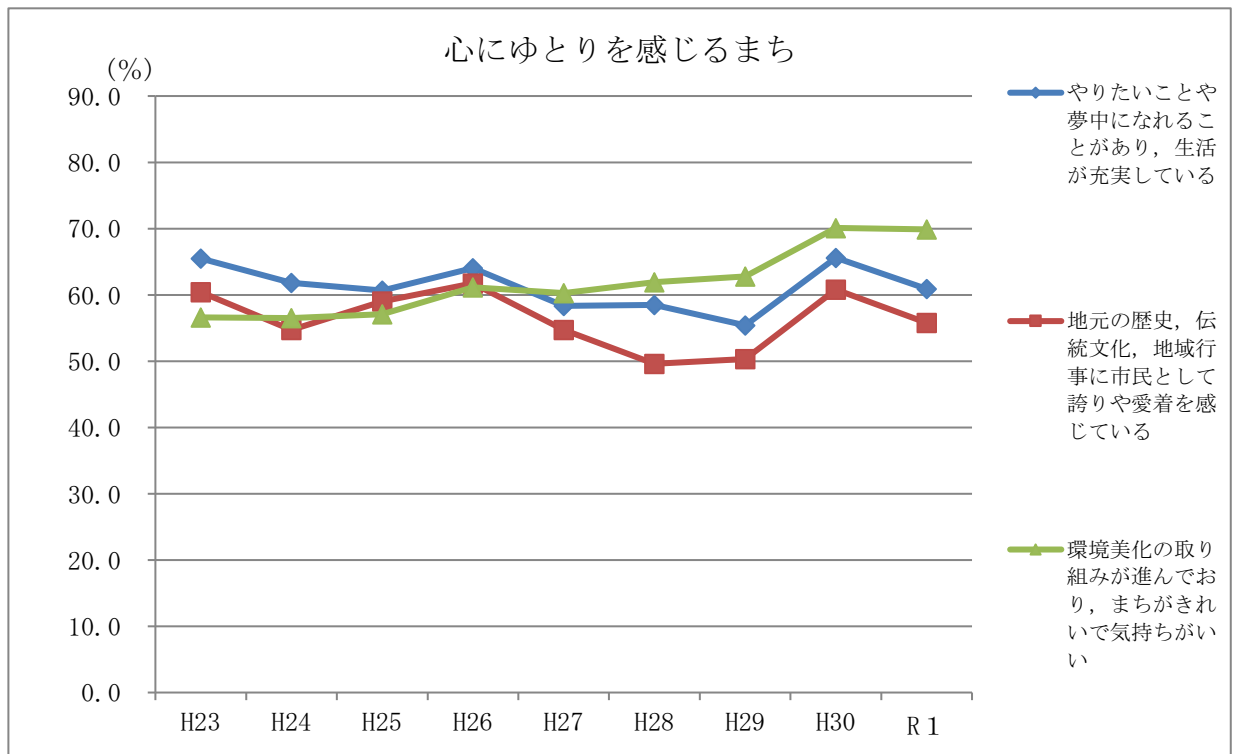
③安心できるまち

「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」と「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」は、相関関係にありそうな設問ですが、常に3割程度の開きがあります。平時からのつながりを強化することで、いざという時に助け合える仕組みの構築に取り組んでいます。



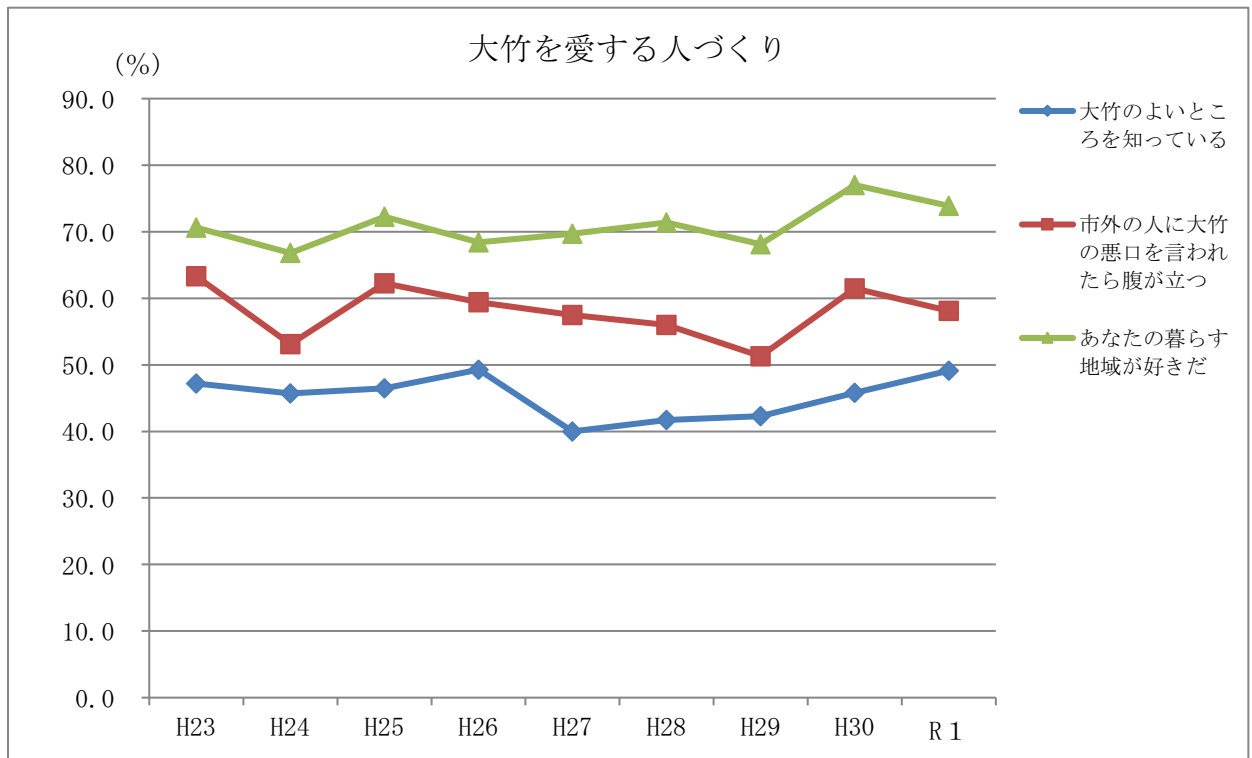
④心にゆとりを感じるまち

「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」は、上昇傾向になっていきます。



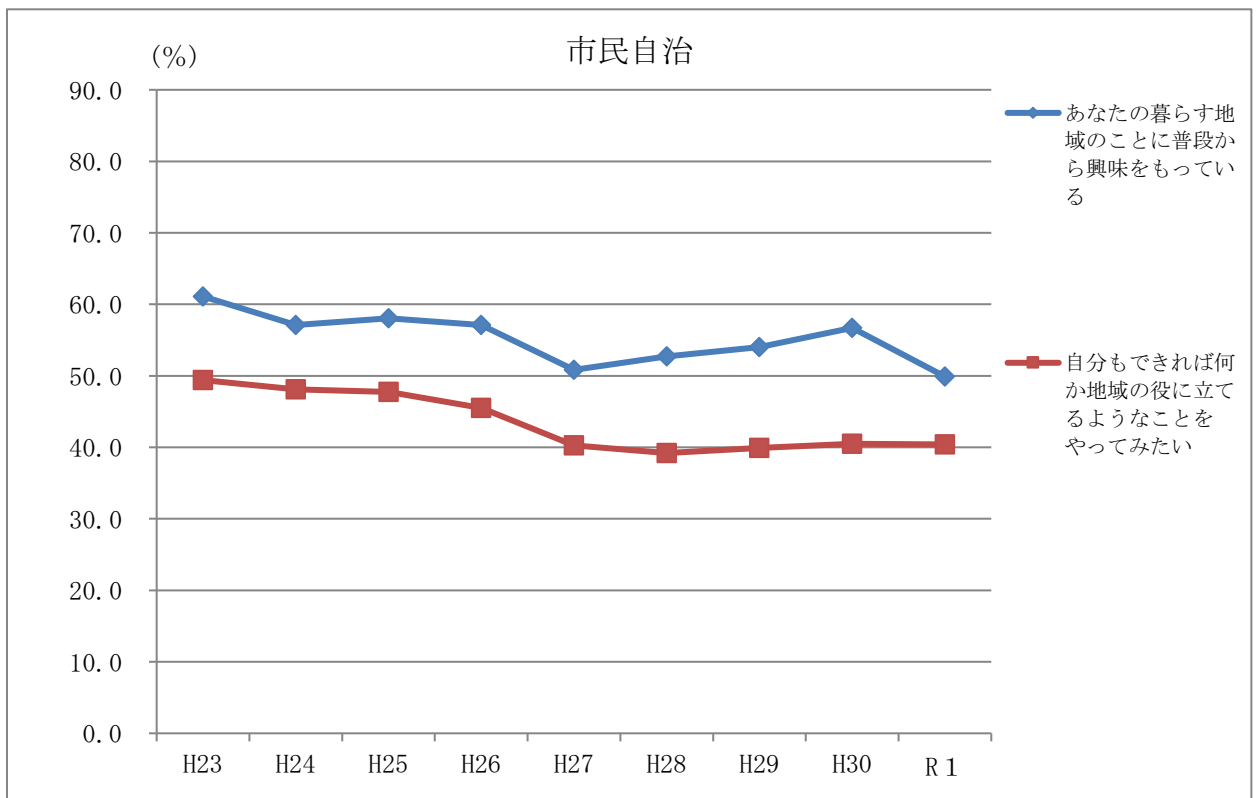
⑤大竹を愛する人づくり

「あなたの暮らす地域が好きだ」が高位をキープしており、市が行う施策において、協力が得やすい状況といえます。一方、大竹の良いところを知らない人も多く、情報発信力に課題があるともいえます。



⑥市民自治

興味をもつこと，やってみたいと思うことの間には，常に1割程度の開きがあります。



B 「モニター回答分」について

1 総括（全体）分析

単純集計結果（項目・設問別）

問・項目	設問	回答割合（回答数）						
		そう思う	少し そう思う	どちらでも ない	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	
問 1	生活 基盤 が整 った まち	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	12.8%(17)	37.6%(50)	20.3%(27)	22.6%(30)	5.3%(7)	1.5%(2)
		目的地までの移動がしやすいまちだと思う	26.3%(35)	36.1%(48)	14.3%(19)	16.5%(22)	6.0%(8)	0.8%(1)
		道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	36.8%(49)	39.1%(52)	7.5%(10)	12.8%(17)	3.0%(4)	0.8%(1)
		計	25.3%(101)	37.6%(150)	14.0%(56)	17.3%(69)	4.8%(19)	1.0%(4)
	安全 なま ち	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	54.1%(72)	39.1%(52)	3.0%(4)	3.0%(4)	0.0%(0)	0.8%(1)
		消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	26.3%(35)	34.6%(46)	17.3%(23)	18.0%(24)	3.0%(4)	0.8%(1)
		自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	24.8%(33)	33.1%(44)	21.8%(29)	13.5%(18)	6.0%(8)	0.8%(1)
		計	35.1%(140)	35.6%(142)	14.0%(56)	11.5%(46)	3.0%(12)	0.8%(3)
	安心 でき るま ち	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	36.1%(48)	33.8%(45)	13.5%(18)	10.5%(14)	4.5%(6)	1.5%(2)
		生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	45.9%(61)	39.1%(52)	9.0%(12)	3.0%(4)	2.3%(3)	0.8%(1)
		地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	30.1%(40)	33.1%(44)	19.5%(26)	10.5%(14)	6.0%(8)	0.8%(1)
		計	37.3%(149)	35.3%(141)	14.0%(56)	8.0%(32)	4.3%(17)	1.0%(4)
	心に ゆと りを 感じ るま ち	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	33.1%(44)	39.1%(52)	17.3%(23)	6.8%(9)	2.3%(3)	1.5%(2)
		地域の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	31.6%(42)	36.8%(49)	21.8%(29)	6.0%(8)	2.3%(3)	1.5%(2)
		環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	29.3%(39)	44.4%(59)	14.3%(19)	8.3%(11)	2.3%(3)	1.5%(2)
		計	31.3%(125)	40.1%(160)	17.8%(71)	7.0%(28)	2.3%(9)	1.5%(6)
	大竹 を愛 する 人づ くり	大竹のよいところを知っている	26.3%(35)	54.1%(72)	10.5%(14)	3.8%(5)	3.8%(5)	1.5%(2)
		市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	44.4%(59)	33.8%(45)	12.0%(16)	6.0%(8)	3.0%(4)	0.8%(1)
		あなたの暮らす地域が好きだ	50.4%(67)	33.1%(44)	10.5%(14)	2.3%(3)	3.0%(4)	0.8%(1)
		計	40.4%(161)	40.4%(161)	11.0%(44)	4.0%(16)	3.3%(13)	1.0%(4)

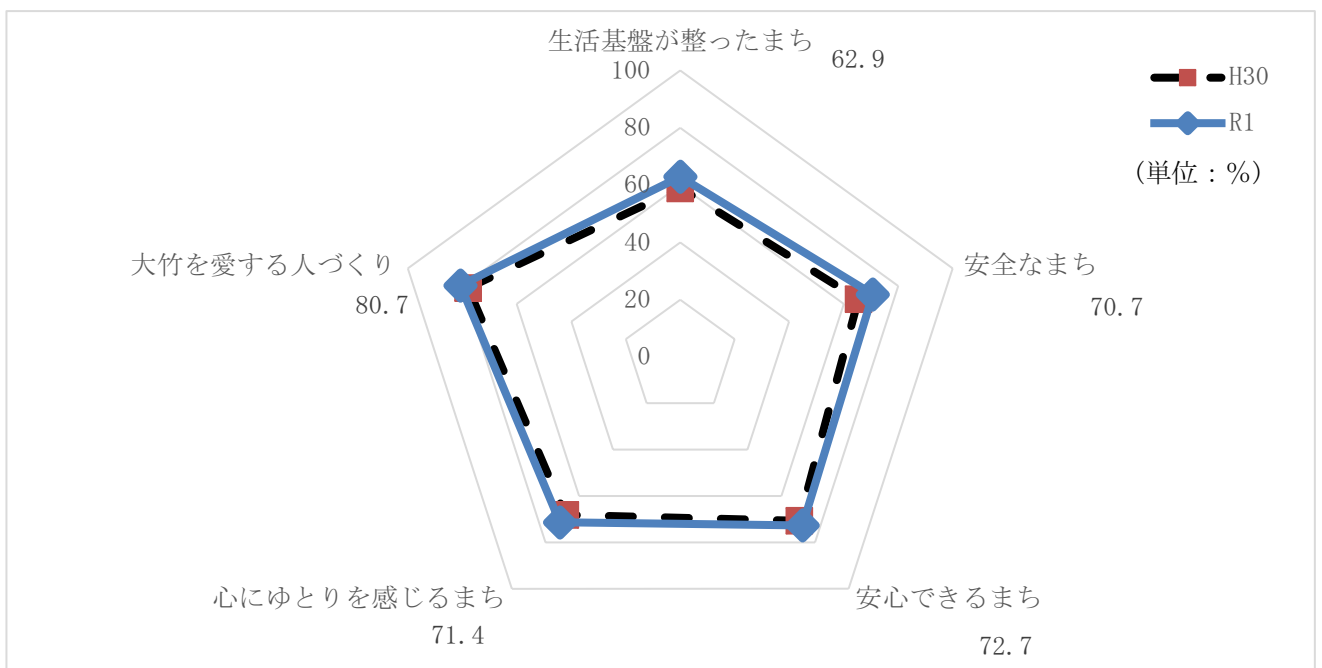
- 問1の各設問において、「そう思う」・「少し思う」・「どちらでもない」・「あまり思わない」・「そう思わない」と答えた人の割合を算出し、全体に占める肯定的な回答（「そう思う」と「少し思う」の和）の割合の値の毎年の動きにより、市民の幸せ感が高まっているかどうか確認します。
- 問2（市民自治）については、問1と同様の方法により、「まちづくりを自分自身の問題として捉え、行政と一緒に考え行動する」わがまちプランに定める市民自治の理念が広まっているかどうか確認します。

(1) 「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について

モニターには、前年度と比べて良くなっているのかどうかを伺っています。

問1全体の肯定的な回答（「そう思う」、「少し思う」）の割合は、前年度から増加し、71.7%でした。この結果から、問1全体としては、肯定的な意見が多いと考えられます。特に「大竹を愛する人づくり」の項目では、8割を超えるモニターが肯定的な回答をしています。

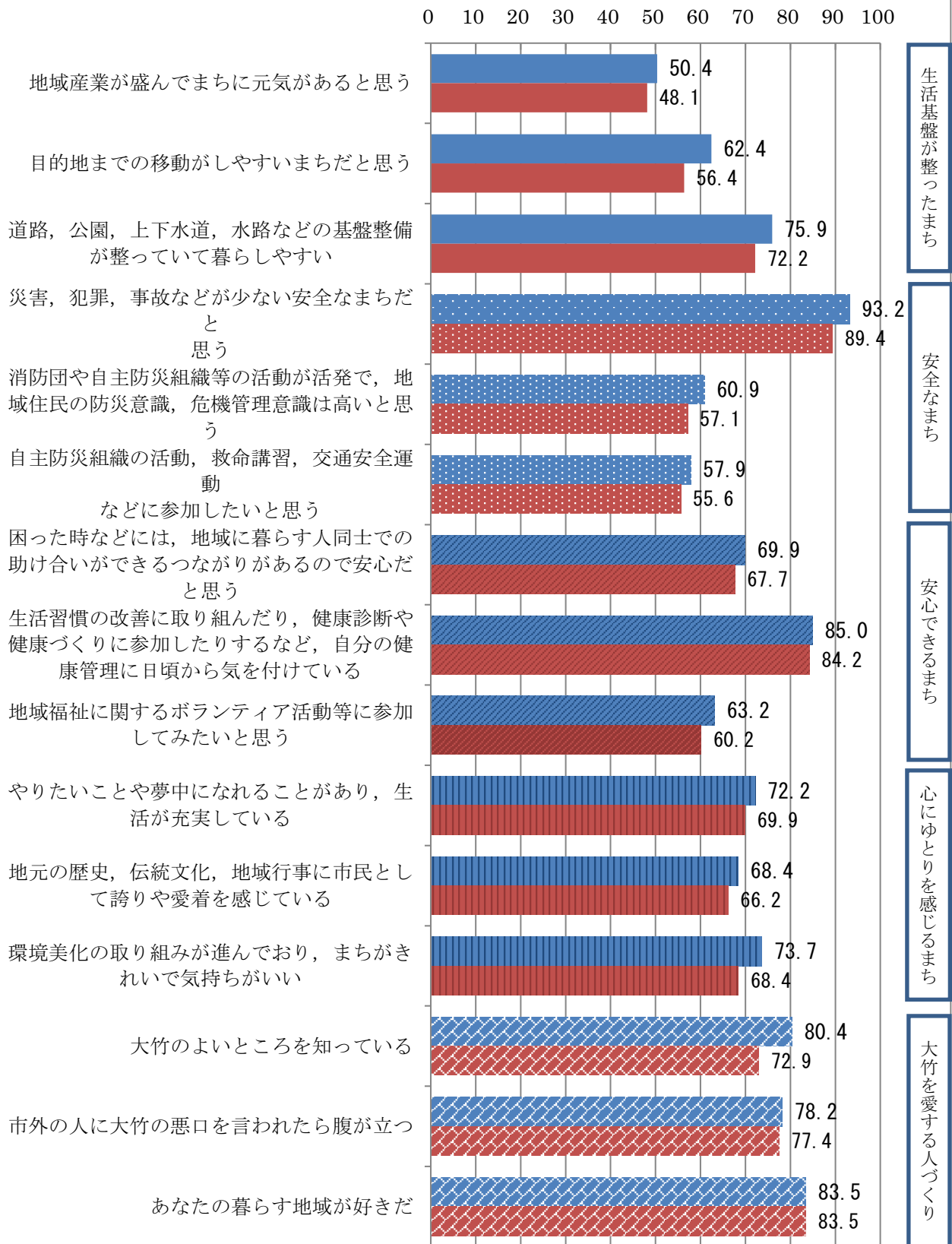
項 目	肯定的回答の割合 (%)	
	R 1	H30
生活基盤が整ったまち	62.9	58.9
安全なまち	70.7	65.4
安心できるまち	72.7	70.7
心にゆとりを感じるまち	71.4	68.2
大竹を愛する人づくり	80.7	77.9
問1全体	71.7	68.2



1年前と比べてどうかについて肯定的意見の割合

(グラフ上段：R1年度 グラフ下段：H30年度)

(%)



15 設問中 14 設問で、前年度より肯定的な回答（「そう思う」、「少しそう思う」）の割合が増加しています。また、前年度よりも減少した項目はありませんでした。

（２）市民自治（問２）について

問２全体での肯定的な回答（「そう思う」、「少しそう思う」）の割合は、前年度より 1.9 ポイント増加し、高い水準を維持しています。

このアンケートのモニターに応募していただいた皆さんは、普段から、まちづくりに興味をもち、自分が暮らす地域をよいまちにするために、自らが考え行動しようとする市民自治の理念が根付いている人が多いようです。

設 問	肯定的回答の割合（％）	
	R 1	H30
あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	81.2	80.5
自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	75.2	72.2
問 2 全体	78.2	76.3

（３）一般の回答との比較

一般とモニターでは、尋ね方が違うので、単純に比較することは難しいですが、モニターの肯定的な意見は「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」の項目以外一般の回答に比べて高くなっています。特に「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」、「大竹のよいところを知っている」、「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」、「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」、「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」の項目は、20 ポイント以上高くなっています。